(別紙様式１)

**※発明等届出書は、学会発表などの3か月前までにはご提出ください。**

　　年　　月　　日

鹿児島大学産学・地域共創センター長　殿

所属・職種

氏　　　名

職　務　発　明　等　届　出　書

（職務発明等に該当する可能性のある発明、考案、創作、創出等）

　下記の発明等をしましたので、国立大学法人鹿児島大学知的財産規則第６条の規定に基づき届け出ます。

記

1.発明等の名称：

2.発明等の要約（３００字程度：①目的②ポイント③効果④用途）

3.発明等の概要（別紙に添付してください。報告書、論文等も添付してください。）

※本発明等と従来（公知）技術との関係及び従来技術文献名も記載してください。

4.出願を急ぐ理由（該当箇所に○をしてください。複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| （ 　 ） | 共同出願先からの希望があるため |
| （ 　 ） | 企業に開示するため |
| （ 　 ） | 学会等で発表する予定があるため |
| （ 　 ） | その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （ 　 ） | 特になし |

5.国際出願（PCT出願）又は外国出願の必要性及びその理由（事業化の可能性の有無や展望の詳細等）

6.市場性の可能性等

7.実用性の可能性等（ライセンス（実施料）見込の有無、侵害発見の容易性等）

8.競争的資金獲得の可能性等（共同研究などの外部資金を含む）

（１）競争的資金獲得実績または今後の獲得見込みについて

（２）共同研究・受託研究等締結実績または今後の締結見込みについて

9.発明等に使用した研究費

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 使用した研究経費 | 研究経費総額 | 発明に要した金額 | 使用年度 |
| 大学から配分された研究費 | 千円 | 千円 |  |
| 共同研究経費（共同者：　　　　） | 千円 | 千円 |  |
| 受託研究経費（委託元：　　　　） | 千円 | 千円 |  |
| 国費等の補助金等（　　　　　　　　） | 千円 | 千円 |  |
| その他（　　　　　　　　） | 千円 | 千円 |  |
| 合計 | 千円 | 千円 |  |

10.使用した研究施設および設備

11.発明等に関する事項（該当欄に○印又は必要事項を記入してください。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 発明等の実施状況 |  | 理論的完成 |  | 試作中 |
|  | 実験中 |  | 試作完了 |
|  | 実験完了 |  | 事業化中 |
| 学外第三者との関係 |  | 第三者との共同研究の成果で有る |
|  | 　　　　　　〃　　　　　　無い |
|  | 第三者からの受託研究の成果で有る |
|  | 　　　　　　〃　　　　　　　無い |
|  | 当該第三者との（共同／受託）契約書が有る |
|  | 　　　　　　〃　　　　無い |
|  | 共同出願　要 |
| 当該第三者名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  | 共同出願　否 |
| 学外発表の予定又は発表状況 |  | 公知日（　　　年　　月　　日）※予稿集、WEB上、口頭の発表等も含め、最先の公知日をご記入ください。 |
| 発表先（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  | 発表済※論文等を添付してください。 |
| 関連論文等発表状況 | 発表日（　　　　年　　月　　日）※論文等を添付してください。 |
| 関連特許等出願状況 | 出願日（　　　　年　　月　　日）出願番号：発明等の名称： |

12.発明者・権利者等

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発　明　者　等 | 氏名・所属・職種 | 寄与割合 | 権利者（出願者） | 持分見込 | 費用負担 | 事務手続 |
|  |  |  | ％ | 国立大学法人鹿児島大学 | ％ | ％ |  |
| 職員等 | 発明者 |  | ％ |
|  |  |  | ％ |
|  |  |  | ％ |  | ％ | ％ |  |
| 学外第三者 | 発明者 |  | ％ |  | ％ | ％ |  |
|  |  |  | ％ |  | ％  | ％ |  |

※寄与割合は、発明の全体の割合を100とした場合の各発明者の発明への寄与割合（％）を記入ください。共同出願の場合は、事務手続きを担当する側に○印を記してください。

13.共同発明者の発明への貢献度の根拠（共同発明者がいる場合に記入ください。）

　※実際にアイディア（着想）を創出したかどうかを確認願います。なお、単なる管理者、補助者は、共同発明者にはなりません。

|  |  |
| --- | --- |
| 発　明　者 | 発明への貢献度の根拠 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

14.管理面の経済性

　※該当する場合は○印を記してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 必要な場合は、出願費用等を発明者に係る奨学寄付金等で全額負担する準備がある。 |  |

15.その他の参考事項

以上